

# 平成28年度下期(28年10月～29年3月) 名古屋地方裁判所競売物件 [開札・落札]分析 SSRI 29-1

不動産鑑定評価・調査・研究・データサービス  
株式会社 三友システムアプライザル  
不動産金融研究所

〒102-0093  
東京都千代田区平河町 1-2-10  
平河町第一生命ビル4F  
Tel:03-5213-9750 Fax:03-5213-9760  
<http://www.sanyu-appraisal.co.jp>

平成28年度下期(平成28年10月～平成29年3月)に、名古屋地方裁判所(本庁および一宮・岡崎支部分。豊橋支部は除く)において開札日が到来した競売物件の開札および落札動向に関する分析を行った。開札日到来物件数なので地裁の発表する競売申立受理件数とは異なる。

## 要約

### 開札動向

#### 開札件数

- 開札件数(全種類合計)は前期から減少し、過去(統計のあるH12年以降)最少件数となった(351件、前期比▲10件)。
- 種類別にみると、全域では「マンション」(35.0%)に比べ「土地付建物」が多い(55.3%)が、地域別にみれば名古屋市は「マンション」が多い(49%)。
- 今後の動向は、金融機関による貸付条件の変更実行件数・配当要求終期公告物件数の推移からみれば、当面は横這いあるいは減少が予想される。

### 落札動向

#### 落札件数・落札件数率

- 落札件数(全種類合計)は、応札対象件数の減少を受けて同じく減少し、過去最少を記録(275件、前期比▲5件)。
- 一方、落札件数率(同)は上昇し過去最高を

達成(93.9%、前期比+1.8ポイント)。なかでも、「マンション」は高水準(98.1%)。

#### 落札価額・落札価額倍率(対買受可能価額)

- 落札価額総額も減少を続け、過去最低となった(49.6億円、前期比▲3.3億円)。
- 落札価額倍率(対買受可能価額)は前期とほぼ同水準(1.96倍、前期2.05倍)。

#### 応札者数

- 総応札者数も連続減少し、過去最少となった(2,105人、前期比▲194人)。
- 種類別にみると、恒常的に「土地付建物」に比べ「マンション」への応札者が多い。

#### 落札者

- 法人による落札が大多数(80.6%)。

#### 地域別状況

- 「土地付建物」と「マンション」いずれも、名古屋市は平均応札者が多く(特に「マンション」)、落札件数率も高い。

●●● 目次

要約..... 1

I. 開札動向..... 3

    1. 開札件数..... 3

    2. 買受可能価額..... 4

**参考** 買受可能価額..... 6

II. 落札動向..... 6

    1. 落札件数・落札件数率..... 6

    2. 落札価額・落札価額倍率(対買受可能価額)..... 8

    3. 落札物件に対する応札者..... 8

        (1) 応札者数..... 8

        (2) 落札者..... 10

    4. 地域別状況..... 10

本資料は弊社のホームページ(SSRI REPORT)にも掲載しております

本資料は、地方裁判所が公表した競売(民事執行)情報に基づき、競売動向の調査報告書として当社が独自に編集したものです。本資料の編集内容に関しては十分に正確を期しておりますが、当社は本資料の編集内容の誤りや不正確に起因するいかなる損害や損失についても責任を負いません。